

令和 6 年度 倉敷市地域福祉基金助成事業実施アンケート

助成期間： 令和 6 年度～令和 7 年度

団体名：倉敷ワクワク食育の会

一年活動をして感想

①実施した内容

年間計画に沿って、倉敷地域の一人でも多くの方々に「身体は食べた物でできている」ことを知って頂くために、毎回テーマを決め、勉強会や料理教室をすることで、少しでも皆さんが健康に暮らせるヒントをお伝えしたいと活動しています。

昨年以上に、スタッフで何度も会議をし、段取り良くできました。

計画の 24 講座のうち、介護予防講座 1 つ(4月にずれ込む)以外の 23 講座はすべて消化できました。

内容の詳細は、様式一7, 様式 7-2 の通り

②参加者の感想

・親子料理教室を2年継続してやることで、子供たちが自信をもって野菜を切ったり、魚を手開きすることができました。子供の成長がみられ良かった。親子および親同士も交流できました。

・毎年作る「おから味噌作り」は親子で楽しく簡単に作れ、おいしいので毎年してほしい。

・季節の料理や、昔ながらの「おひつ」文化を味わうなど、ひと味違うワンランク上の料理を体験できました。日頃いかに自己流でしているかに気づきました。

・座学だけでなく、おやつ作りやおむすびの会をすることで、和気あいあいと本音で交流できて良かった。

③地域福祉基金の有用性

地域福祉基金のお陰で、参加しやすい金額で参加でき、しかもいろんな料理が作れて、とても喜ばれました。ありがとうございます。

外部のプロの講師を招いて「お灸講座」や「足裏マッサージ講座」をすることができ、日ごろ知ることができないセルフケアを教えて頂くことができました。

お味噌作りなど、費用がかさむものは、基金があると本当に助かります。

④今後の展開・夢・課題など

継続的、計画的に事業を行います。味噌作りや魚のさばき方は毎年行います。今後は豆腐作りに挑戦します。

来年度は新たに市の子育てスペースからの依頼もあり、「五大栄養素の話」「まごわやさしい」「ウンチの話」「炊き立てご飯とお味噌汁」など基本を繰り返しながら定着させていきます。

知識だけでなく、共に作り、共に食べ、技能も習得する実践を中心とした楽しい食育活動を継続し、倉敷地域の皆さんの心と身体を元気にします。

また仲間作りの場としても活動を広げて行きます。

※このアンケートは、地域福祉基金の助成を受けたことのある団体から、事業開始後5ヵ年度の期間提出していただくものです。